

ZOOM UP 医学部教育 最前線 Vol.20

課題解決型高度医療 人材養成プログラム

医療現場で課題になっている事柄に
貢献できる人材の育成をめざす。
新たな取り組みを開始する
医学部を支援する事業。



多くの医学部が積極的に公募に応じ 充実したプログラム内容が期待できる

文部科学省が、2014年度から導入したのが、「課題解決型高度医療人材養成プログラム」です。

このプログラムの目的は、「医療現場等で課題となっている事柄に貢献できる人材の養成を公募テーマに設定し、これについて大学が新たに取組を開始することで、全国の大学・大学病院における人材養成機能を一層強化し、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療を提供できる優れた医療人材を養成すること」です(2018年9月19日の文部科学省のプレスリリースより)。

「取組1: 医師・歯科医師を対象とした人材養成」と「取組2: 看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成」の二本立てになっていますが、本稿では、医師関連に限定して取り上げます。

年度ごとに、文部科学省がテーマを設定しており、これまでに、2014年度「医療の質管理(医療安全・感染制御)」「災害医療」

「臨床医学教育・研究」「難治性疾患診断・治療(臨床病理を含む)」「高難度手術」「小児周産期」、2016年度「放射線災害を含む放射線健康リスク」「慢性の痛み」、2017年度「病院経営支援」、2018年度「精神関連」「医療チームによる災害支援」、2019年度「アレルギー」「外科解剖・手術」といったテーマで公募されています。なお、2015年度は実施されていません。

右ページの資料は、これまでに選定された大学の一覧ですが、いくつかの特色が見てとれます。

まず注目されるのが、大学が積極的に公募に応じていることです。どのテーマも申請数がきわめて多いのです。文部科学省が設定したテーマについて、大学側でも重要性が高いと認識していることが分かります。

しかし、数多くの申請数に対して、選定数は少なく、相当な「狭き門」になっています。たとえば2014年度の「医療の質管理領域」では、申請26件で、選定は2件、「災害医療領域」は、申請19件で、選定は2件になっています。選考段階でかなり精選されているわけで、それだけに、選定された大学のプログラムは充実した内容が期待できます。

複数の大学が連携するケースも少なくありません。たとえば、2014年度の「高難度手術領域」では、熊本大学が中心となって、長崎大学、岡山大学、金沢大学、新潟大学、千葉大学、京都大学と連携し、国内初の肝臓移植を担う高度医療人材養成に取り組んでいます。2019年度の「外科解剖・手術領域」では、名古屋大学が中心となって、岐阜大学、三重大学、浜松医科大学と連携し、東海国立大学病院機構CSTネットワーク事業を推進しています。それぞれの大学の強み、特色が組み合わさることによって、プログラム全体の価値が高まる効果は大きいと考えられます。とくに、プログラムの中には、医学部だけで成果をあげるのには難しいものも含まれています。そのため、鈴鹿医療科学大学、茨城県立医療大学など、医師以外のメディカルスタッフを養成している大学や、高知工科大学など、情報工学の専門家が多い大学と連携するケースも見られます。

なお、このプログラムは選定後、原則として5年間補助金が支給されます。けれども、それが確実に保証されているわけではありません。中間評価が実施され、S~Dの5段階の総合評価でD評価になると、事業停止が勧告されるからです。ただし、これまでに2回の中間評価が行われましたが、D評価を受けたプログラムはありません。2014年度選定校はS評価1校、A評価1校、B評価8校、C評価2校、2016年度選定校はA評価3校、B評価1校、C評価1校でした。おおむね順調な取り組み内容になっていると考えられます。文部科学省のホームページで、各プログラムの総合評価と、優れた点、改善を要する点が公表されていますから、興味のある人はアクセスしてみてください。

また、読者の中には、このプログラムに興味を持って、自分が入学する頃には、事業が終わっていると考える方もいるかもしれません。けれども、選定校の多くは、5年間の補助金が終了した後も、何らかの形で、取り組みを継続させようという意欲を示しています。少なくとも、当該分野の教育・研究は、かなり充実が図られていると考えていいでしょう。

筑波大学の放射線災害に対応できる人材養成と 慶應義塾大学の病院経営人材養成

プログラムに選定された大学はすべて、取り組みの内容や進捗状況を公表するために、独自のホームページを開設しています。興味を持ったテーマがあったらチェックしてみてください。ここでは、紙幅の関係で2つの例を紹介します。

筑波大学の「放射線災害の全時相に対応できる人材養成」は、多岐に渡る放射線災害に対して、従来の断片的な教育ではなく、救急医療でいうところの急性期から慢性期までをカバーする体系的なカリキュラムを構築しています。医学類の教育で「放射線災害専門スタッフ養成コース」、大学院博士課程で「放射線防護学分野」を開設したほか、卒後生涯教育として、医師、診療

放射線技師、臨床検査技師、医学物理士などのメディカルスタッフを対象に、1年間の放射線災害専門スタッフ養成プログラムを設けています。

慶應義塾大学の「ケースとデータに基づく病院経営人材養成」では、大学院健康マネジメント研究科に専用のプログラムを設けています。「政策・経営・現場のレイヤー(三層構造)で見ることができる」「単なる経営知識でなく、考える力を持つことができる」「他職種や他産業からの知見を医療経営に取り入れることができる」の3つの力を備えた人材養成を目標にしています。ケース(実際の病院などの経営課題を記述した教材)をもとに、教員と院生、および院生同士でディスカッションを重ねる「ケースディスカッション」を中心とした、主体的な学びが展開されています。

◆資料 プログラムの選定大学一覧

2014年度

- 医療の質管理領域(医療安全・感染制御)申請26、選定2
 - ・東京医科歯科大学
PDCA医療クオリティマネージャー養成
 - ・名古屋大学
明日の医療の質向上をリードする医師養成
- 災害医療領域 申請19、選定2
 - ・新潟大学
発災~復興まで支援する災害医療人材の養成
 - ・近畿大学(京都大学、大阪市立大学、関西医科大学、旭川医科大学と連携)
災害医療のメディカルディレクター養成
- 臨床医学教育・研究領域 申請15、選定2
 - ・京都大学
京大で臨床研究力/医学教育力を強化する!
 - ・琉球大学
臨床研究マネジメント人材養成
- 難治性疾患診断・治療領域(臨床病理含む)申請12、選定2
 - ・金沢大学(富山大学、福井大学、金沢医科大学と連携)
北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン
 - ・信州大学(札幌医科大学、千葉大学、東京女子医科大学、京都大学、鳥取大学と連携)
難病克服!次世代スーパードクターの育成
- 高難度手術領域 申請12、選定2
 - ・熊本大学(長崎大学、岡山大学、金沢大学、新潟大学、千葉大学、京都大学と連携)
国内初の、肝臓移植を担う高度医療人材養成
 - ・慶應義塾大学(東京医科大学、岩手医科大学と連携)
領域横断的内視鏡手術エキスパート育成事業
- 小児周産期領域 申請12、選定2
 - ・筑波大学(東京医科歯科大学と連携)
ITを活用した小児周産期の高度医療人材養成
 - ・鳥取大学(秋田大学、山形大学、大阪市立大学と連携)
重症児の在宅支援を担う医師等養成

2015年度

実施せず

2016年度

- 放射線災害を含む放射線健康リスクに関する領域 申請7、選定2
 - ・筑波大学
放射線災害の全時相に対応できる人材養成
 - ・長崎大学(広島大学、福島県立医科大学と連携)
放射線健康リスク科学人材養成プログラム
- 慢性の痛みに関する領域 申請13、選定3
 - ・三重大学(鈴鹿医療科学大学と連携)
地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成
 - ・山口大学(大阪大学、滋賀医科大学、愛知医科大学、東京慈恵会医科大学と連携)
慢性の痛みに関する教育プログラムの構築
 - ・名古屋国立大学
慢性疼痛患者の生きる力を支える人材養成

2017年度

- 病院経営支援に関する領域 申請17、選定10
 - ・北海道大学
病院経営アドミニストレーター育成拠点
 - ・千葉大学
病院経営スペシャリスト養成プログラム
 - ・東京大学
経営のできる大学病院幹部養成プログラム
 - ・東京医科歯科大学
大学病院経営人材養成プラン
 - ・京都大学
実践的医療経営プロフェッショナル教育事業
 - ・神戸大学
実践的病院経営マネジメント人材養成プラン
 - ・高知大学(香川大学、高知工科大学、高知県立大学と連携)
地域医療を支える四国病院経営プログラム
 - ・宮崎大学
教育用電子カルテ活用による人材養成事業
 - ・横浜市立大学
都市型地域医療を先導する病院変革人材育成
 - ・慶應義塾大学
ケースとデータに基づく病院経営人材養成

2018年度

- 精神関連領域 申請12、選定4
 - ・筑波大学(茨城県立医療大学、東京慈恵会医科大学と連携)
精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成
 - ・千葉大学
メンタル・サポート医療人とプロの連携養成
 - ・東京大学
職域・地域架橋型一価値に基づく支援者育成
 - ・京都大学
発達症への介入による国民的健康課題の解決
- 医療チームによる災害支援領域 申請23、選定3
 - ・東北大学(福島県立医科大学と連携)
コンダクター型災害保健医療人材の養成
 - ・新潟大学
実践的災害医療ロジスティクス専門家の養成
 - ・熊本大学(九州大学と連携)
多職種連携の災害支援を担う高度医療人材養成

2019年度

- アレルギー領域 申請3、選定1
 - ・福井大学(金沢大学、富山大学と連携)
北陸高度アレルギー専門医療人材育成プラン
- 外科解剖・手術領域 申請9、選定2
 - ・北海道大学(京都大学、千葉大学と連携)
臨床医学の献体利用を推進する専門人材養成
 - ・名古屋国立大学(岐阜大学、三重大学、浜松医科大学と連携)
東海国立大学病院機構CSTネットワーク事業